

# 評価の方法・基準について

## 評価方法について

◆目標を達成するための具体的方策の取組状況について、教職員又は児童対象に、4(あてはまる)、3(どちらかというにあてはまる)、2(どちらかというにあてはまらない)、1(あてはまらない)の4段階でアンケートを取り、目標数値の達成度を次の基準で評価しました。

目標数値の達成度	評価
※回答結果(%) ÷ 目標数値(%) × 100 = 達成度(%)	
100%以上(達成している)	… A 取組がよい
85%以上～100%未満	… B まあまあよい
60%以上～85%未満	… C あまりよくない
60%未満	… D よくない

※総括の項目の○はプラス面の成果を、△はマイナス面の課題を表します。

## 評価の時期と改善に向けて

- ◆評価は、1学期末と2学期末に実施します。
- ◆目標の達成状況と具体的方策の実施状況を関連させて検証し、課題を明らかにすることによって、方策の改善を図ります。

## 評価の公表について

- ◆評価結果については、学校のホームページでお知らせします。

令和7年度 学校評価総括表

越前町立糸生小学校

重点項目	目標	数値目標(評価基準)	評価結果	具体的取組(評価基準)	評価結果
未来につながる確かな学力	粘り強く考える子の育成	「自分に合ったやり方を選んだり考えたりして、問題を解決することができた。」と答える児童が90%以上(当てはまる70%)を目指す	A(B)	児童に学習の見通しをもたせ、学習する方向性や学習の進め方を選んだり決めたりできる場を設定する。	A
				生徒指導の4つの視点を取り入れた授業を行う。	A
	協働的に学ぶ子の育成	「自分の考えを伝えたり、他の子の意見を聞いたりして、お互いに学び合うことができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる75%)を目指す。	A(A)	個別最適な学び、協働的な学び、ICT教育の実践に向けた情報交換を行い、授業に活かす。	A
				糸生地区を中心に越前町内の施設を活用した学習活動を企画し、地域の人と交流する。	A
未来につながる健やかな心と体	認め合い協働できる子の育成	「みんなで何かをするのは楽しい。」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(A)	「魅力ある学校づくり」の取組や行事を生かしたピアサポート活動を行う。	A
				地域の方等と交流できる活動を取り入れる。	A
	たくましい心と体で自己解決を目指す子の育成	「自分に合っためあてを意識しながら運動に取り組んだり健康に生活したりすることができた。」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	体育の授業や体育的活動で、自分に合っためあてを設定し、振り返る場を設ける。	A
				健康増進への意識をもたせるために、学年に応じた目標を立て、「健康カレンダー」「我が家のメディアルール」に取り組ませる。	A

# 令和7年度 学校関係者評価書

越前町立糸生小学校 学校関係者評価委員会

項 目	評 価
未来につながる 確かな学力	<p>[粘り強く考える子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 思考を深めるために視覚的に訴えたり、見通しが持てるように提示して伝えたりするなど工夫出来ている。</li><li>・ 出来た事や頑張った事、次に頑張りたい事や挑戦したい事を発表する事が、粘り強く考える子の育成に繋がると思う。</li></ul> <p>[協働的に学ぶ子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ペアやグループ活動を取り入れることで、意見が言いやすく、他の意見も聞くことが出来て良い。</li><li>・ 学習ソフトの他者参照機能を活用することにより、問題が分からず困っている児童に気付くことができ、みんなで一緒に考え解決することで、協働的に学べる子の育成に繋がると感じた。</li></ul>
未来につながる 健やかな心と体	<p>[認め合い協働できる子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の目当てを立て、振り返りを行うことで自分自身のことも認め、自己肯定感が育つように今後も取り組んでいただきたい。</li><li>・ 全校で親子体育大会や遠足等の行事の際に共通したワークシートに取り組み、行事後ハート貯金箱に取り組むことで認め合い、協働出来ると感じた。</li></ul> <p>[たくましい心と体で自己解決を目指す子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 運動面に関しては、少人数でマイナス面もあるが、異学年で活動したり委員会を中心に工夫した活動の取組を実践したりしている所が良い。</li><li>・ 自分の目当てを決めてから練習や測定に取り組むことは、児童の意欲を引き出すことに繋がり、主体的になると思う。</li><li>・ メディアルールに関しては、家庭との連携が必要であり、改善していくのがなかなか難しいのが課題である。</li></ul>
その他 学校教育活動 全般	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 糸生小学校ならではの特性を生かしつつ、他との交流や情報の共有をしながら学校全体の底上げをお願いしたい。</li><li>・ ICT 機器やタブレットの導入は良いことだと考えているが、手書きすることが大事な場面もあるかと思うので、適切な使用を指導していただきたい。</li><li>・ 学校再編に向けて、子どもたちがスムーズに移行できるように環境への配慮も必要である。保護者、地域住民に対しての説明も丁寧に行い連携して進行していただきたい。</li></ul>